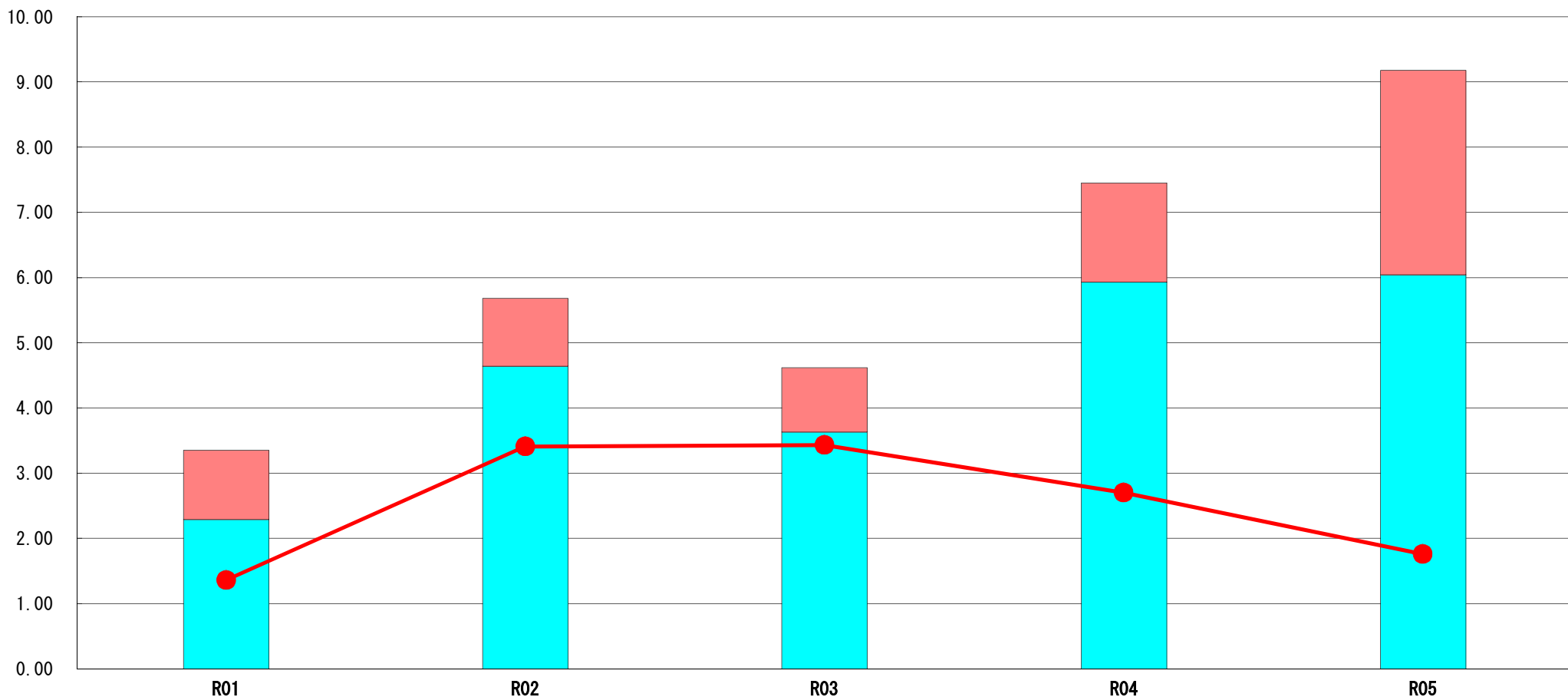


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和5年度

和歌山県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
 財政調整基金残高		1.06	1.04	0.99	1.52	3.14
 実質収支額		2.29	4.64	3.63	5.93	6.04
 実質単年度収支		1.36	3.41	3.43	2.70	1.76

分析欄

令和5年度の決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて減少した。歳出が新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減少等により292億円減少し6,081億円、歳入が新型コロナウイルス対策関連補助金の減少等により266億円減少し6,363億円となっており、歳入歳出を差し引いた金額は前年度を25億円上回る282億円となった。

実質収支は、翌年度に繰り越すべき財源が22億円増加し97億円となっており、前年度を4億円上回る185億円となった。

また、実質単年度収支は、国庫支出金返還に伴い財政調整基金を15億円取り崩した一方で、普通交付税の精算等に備えるため財政調整基金へ65億円積み立てたことや近年の実質収支・実質単年度収支には決算の確定により歳入超過となった新型コロナウイルス感染症対策関連経費が含まれていることもあり、54億円の黒字となった。

今後見込まれる社会保障関係費や公債費の増大に対応するため、より一層の歳出削減・歳入確保の取り組みを進めていく。